

# 連文

R E N B U N



Vol. **107**  
2019.8



百見間は一体験に如かず  
令和元年度定期総会を終えて  
青木繁を偲んでけしけし祭

創部65周年記念連文デザイン部展

第53回 仲縄忌俳句大会 第21回 短歌部歌評会

第3回 日本画部展 第13回 工芸部会員作品展

第46回 書道部書作家展

第65回 茶道部大茶会 第2回 総合文化部門展覧会

久留米連合文化会

# 百見聞は一体験に如かず

連文は次代の文化を創造する若者たちにワークショップを！

文芸部門副会長 石山浩一郎

元号が「令和」に決まり、スタンプラリーなみの、神社の御朱印集めがブームになりました。平成天皇が、自らの意志で退位され、在位中の戦跡慰霊、震災慰問への国民の感謝の気持ちもあって、明るいお祝い一色になったのも、新しい時代の到来を感じさせました。元号ゆかりの太宰府が脚光を浴び、出典となった万葉集もブームになっています。

万葉集ならば、太宰府長官の同伴旅人の梅見の宴より、防人の歌が注目されるべきだという見方もできます。防人とは、吉岐対馬筑紫の辺境防備に、関東地方から強制的に駆り出された、まだ未成年を含む兵士たちです。元号の出典を国書にこだわった人々には、防人やその母たち、「よみ人知らず」の人たちが、血の涙を流した歌など、これっぽっちも頭になかったでしょう。

ちなみに、映画「二百三高地」の壮絶な戦闘シーンで流されたさだまさしのテーマ曲も、「防人の歌」でした。「おしえてください この世に生きとし生ける

もの、すべての生命に限りがあるのなら 海は死にますか 山は死にますか・・・」という歌詞は、万葉集の第16巻の漁師の「よみ人知らず」の「うみやしにする、やまやしにする」という挽歌が原典です。

万葉集は、四五〇〇首を収めた日本最古の歌集ですが、なによりの特徴は、柿本人麻呂や山上憶良などの有名歌人から、皇族、貴族から農民漁民、乞食も含めた名もなき民衆、東国地方の口承民謡まで収めた、そのとてつもない幅広さです。当然、短歌中心とはいえ、表現形態もさまざま、万葉仮名に統一された表記も斬新です。最終期の同伴家持らの編纂といわれていますが、一〇〇年超の作を二〇巻に収録する、国家的な文化イベントだったのです。

さて、久留米連文も、七〇周年記念目前です。これからの時代に、私たちの連文は、なにをめざしていくのでしょうか。人間の精神が作り出すものが文化、精神を向上させるものが文化なら、連文の組

織をあげて取り組むべき芸術文化活動とは、なんなのか、あらためて議論するチャンスかもしれません。

スポーツ界でも、オリンピックやパラルリンピックの競技種目も、多様になっています。刻々と新しく変わり続けている中で、文化芸術のジャンルも表現法も、ますます多様になり、優劣を決めることなどできないし、まして説得力のない価値観や美意識にこだわって、排除するなど愚かなことです。

極めて私的なことですが、「創造は、想像だ。想像は、発見だ。発見は、感動だ。」ということ、肝に銘じて、オリジナルにこだわってきました。文化芸術は、基本的には孤独な活動ですから、自由と寛容さがエネルギー源です。

今後の組織としての連文の課題は、未来の久留米市民の文化創造の土壌づくりに、どう取り組むかということだと思います。自分たちの今やっている優れたものを、市民に見せ聞かせればいいのかという目線は、いささか傲慢です。観光が、「コト消費」つまり体験型に転換したように、たとえば、六角堂広場で、絵描き、女優、歌手、生け花、小説家ETC.、にやりたいという子どもたちの夢を語らせる、体験型のワークショップを開き、その道のプロが相談に応じるという企画はどう

でしょう。チケットを売る必要もない、ギャラも必要ない。それだけの人材がいる組織が、連文であるはず。スポーツ界で二世が活躍するのは、親がコーチする例が多いようです。子どもたちの文化のコーチになりませんか。



中村八大は、十二歳の時、中国の青島で、亡命していたユダヤ系ドイツ人へルス先生と、出会い、大胆に編曲した「荒城の月」の即興演奏を聴き、感涙を流し、生涯をかけて大作曲家になろうと心に誓いました。生きとし生けるもの、誰かと出会って体験してはじめて才能に目覚めます。まだ「よみ人知らず」の次代の若者たちと直に出会うことが、連文の未来を拓く鍵だと思います。ジュニア文化花ざかりの令和でありたいものです。



# 令和元年度 定期総会を終えて

令和元年度の連文定期総会が5月25日(土)午前10時より創世にて開催されました。オープニングセレモニーとして、パツハ無伴奏・パルチータ3番より「ガボット」をヴァイオリン・藤吉浩代(洋楽部)さんの演奏で、総会の幕が上がりました。

第1号議案 2018年度久留米連文文化会事業報告並びに決算承認について  
第2号議案 令和元年度久留米連文文化会事業計画並びに予算(案)について  
第3号議案 連文創立70周年記念事業・予算(案)について  
第4号議案 規約改正(案)について  
第5号議案 役員改正(案)について提案・審議がなされ、いずれも原案どおり可決・承認がなされました。

表彰式では、連文功労賞2名、第66号久留米文学賞1名、会員美術展連文会員賞12名、舞台芸術・華道・茶道部門連文会員賞4名、永年30年表彰者4名の方々が表彰されました。



最後に平成30年度以降入会者51名の新入会員の方を紹介し無事総会が終了しました。

同日12時から受賞記念祝賀会が開催され、久留米市功労者・末永峻秀(華道部)さん、藤田喜一郎(学芸文化部)さん、久留米市芸術奨励賞・兼行孝幸(洋楽部)さん、和岡剛治(洋楽部)さん達を祝う宴が開催されました。また兼行さん所属の「PONSSHOYOU」声楽アンサンブルの素晴らしい歌声が披露されました。

中島副市長をはじめ来賓の方もお祝いに来ていただき、また会員相互の交流もでき和やかな雰囲気でした。(事務局)

## 青木繁を偲んで

### 第66回けしけし祭

平成31年3月24日(日)11時から、かぶと山の山頂に於いて、青木繁画伯を偲びけしけし祭を開催しました。

〔献酒〕副市長 他

〔祭文〕中島年隆 副市長

〔献歌と発表〕山本小学校3年生

青木繁研究発表／「母います国」の合唱

・コラボ 野田弘樹(書画文化部)

連文会員による献花・献茶・献書・

献句・献歌も行われました。

〔献花〕生津春花(華道部)

〔献茶〕松隈宗保(茶道部)

## 青木繁生誕茶会

江戸千家久留米不白会



旧居において例年7月の誕生前後に、江戸千家で茶会を開催していましたが、今年も近年の猛暑で一か月早い6月23日(日)に保存会の方々のご協力で行いました。テーブルを囲み一服のお抹茶を楽しんで頂きました。暑い時季ですが、楽しみにされているお客様も多く話が弾みました。(茶道部・田中宗俊)

## 青木旧居華道展

草月流万年青会中野松芳社中

青木繁の命日に合わせて恒例の花展を3月23日(土)・24日(日)開催。今回は輪切りにした生木を草月流の研究会で作品に仕上げ、花を添え好評を得ました。開館から16年。10万人目の来館者を迎える事ができました。花展をさせて頂く事で、繁画伯が、ふるさとに広く親しまれる、それも又嬉しいことです。(華道部・中野松芳)



(沖 華等)

〔献書〕成清紅葩(書道部)

〔献句〕吉田いずみ(俳句部)

繁忌や故山の黒子暖かき 後藤隆

繁忌やなつかしき香の木の芽風 宮崎みゆき

繁忌の児童の歌や風光る 吉田いずみ

〔献句〕堤日出緒(川柳部)

けしけし山と繁を偲ぶ筑後川

馬場ゆうこ

カップ酒ごくごく召して繁の碑

堤日出緒

〔献歌〕酒井イオエ(短歌部)

暮れぬれば繪の具を収め歸る路

月なき谷を猿の聲する 青木繁



山本小学校3年生

主催者挨拶(会長)、地元代表挨拶(山本校区振興会会長)、親族代表挨拶(高山喜一郎)で閉祭しました。(事務局)

## 創部65周年記念連文デザイン部展

連文デザイン部は、昭和28年(1953)、久留米が大水害に見舞われた年に、連文商業美術部として誕生しました。創立当初の会員は、檜枝泉秀(部長)、大鶴重雄、菅谷達雄、坂田辰次、宗康史、春野三男、矢野徹の7名でした。当時は、会員の数も少なく一般的には図案という名称で、デザインという言葉もまだ使用されてはいませんでした。やがて、社会的にデザインの有用性が認識され始め、東京では日宣美が設立され、活動を始めてから、全国にデザインブームが巻き起こると、福岡にもデザイン系の学部、短大、デザイン専門学校が設立されました。九州グラフィックデザイン協会が活動を始めたのもこの頃ですが、その1年前、久留米グラフィックデザイン協会が設立されています。連文のデザイン部にも若い会員が増えていき、新しい視点からの作品が登場し始めました。その後、ブームが一段落すると、日宣美、九州グラフィックデザイン協会、久留米グラフィックデザイン協会は相次いで解散することになりました。

時代の波の変化は激しく、デザインの世界に、新たな課題がたちはだ



かつているようです。その変化に合わせ、連文グラフィックデザイン部から現在の連文デザイン部へ名称が変更されたのは平成14年(2002)でした。

私たち、久留米連合文化会デザイン部は、今回の展覧会をきっかけに、新たな出発の節目としたいと考えています。

今回の展覧会にご協力いただきましたみなさまにあらためて感謝申し上げます。(デザイン部・檜枝泉秀)

2019年1月30日(水)～2月3日(日)久留米市美術館1階にて「創部65周年記念連文デザイン部展」を開催。最終日が雨にも関わらず670名の方にご来場いただき、再度展示をという嬉しい言葉も多数聞かれました。

1953年に発足し現在に至るまで、グループ展など伝えるデザインをテーマの中心として行なってきました。今回のテーマは「□ing」。これまで重ねてきた過去の歴史から現在、「未来へとその瞬間を進み繋いでいく、現在進行形」の意味をingに込めました。

中央に約70羽の紙の鳥でインスタレーションを共同制作し、翼には節目の西暦を刻んだ鳥たちを窓に向かって羽ばたかせ、周りにテーマ作品を展示しました。

部員9名全員が参加。物故会員として、創部者のひとりでもある檜枝泉秀、井上明、昨年10月この展覧会を築しみに亡くなった納戸健次の作品が含まれます。

物故者作品・新作・代表作など約200点を展示し、デザイン部の新たな出発の節目の展示会となりました。

(デザイン部・市丸美波子)

## 第46回連文書道部書作家展

令和元年5月15日(水)～19日(日)、久留米市美術館1階ギャラリーにて開催。

今年は「親しみやすい書(民謡など)」をテーマに65名の会員により160点余りの作品展示を行いました。今年も1526名という多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。

書道展はわかりにくいといわれているので読める書(調和体)を導入していることで、近年は子どもさんたちにも楽しんでいただけるようになり、多くの方からお褒めの言葉を頂きました。

「調和体作品」は、まだ日が浅く読める中に芸術性を加味するという難しさがあります。来年の連文創立70周年記念展にむけ更に精進して参ります。

(書道部・中島静山)







# カザフスタンオリンピックピック競技 キャンプ2019連文歓迎行事

日時が確定したら連文ホームページ  
でお知らせします。日時は2週間前に確  
定します。(約1時間)

どなたも自由に参加ください。(事務局)

●統括責任者「木村清吉

## ①柔道(女子)選手13名・合計15名

琴の演奏と日本舞踊鑑賞、選手13人浴衣を付  
けて日本舞踊体験。

期間：8月13日～23日のいずれか1日

会場：シテイプラザ和室(演出責任者 花柳津栞里)

## ②柔道(男子)選手11名・合計16名

茶道(江戸千家)・琴体験

期間：8月18日～24日のいずれか1日

会場：シテイプラザ和室(演出責任者 田中宗俊)

## ③ボクシング(選手20名・合計28名)

書画・高良大社雅楽・謡曲体験

期間：9月1日～14日のいずれか1日

会場：シテイプラザ和室(演出責任者 諸石祥雲)

## ④テコンドー(選手12名・合計17名)

連文会員華道展(9月16日～18日)・生花体験

期間：9月5日～18日のいずれか1日

会場：シテイプラザ展示室「会議室」で生花体  
験↓展示室(演出責任者 末永 皎秀)

## ⑤レスリング(グレコ)選手15名・合計20名

茶道(表千家不白流)・琴・謡曲体験

期間：9月24日～10月7日のいずれか1日

会場：シテイプラザ和室(演出責任者 岡宗幸)

## ⑥レスリング(フリー)選手22名・合計28名

書と染色体験・日舞鑑賞・会員美術展鑑賞

期間：10月6日～20日のいずれか1日

会場：久留米市美術館(演出責任者 宇美拓哉)

## ⑦卓球 期間：計画修正

新体操 期間：計画修正

## ⑧新体操 期間：計画修正

(令和元年7月18日現在)

# 第55回短歌部短歌大会

令和元年5月26日(日)、石橋文化会館小  
ホールにて、久留米短歌大会開催。

会場いっぱいのお客様を迎えて、短歌  
愛好者が多いことを改めて感じた。

表彰式で特選の5名の内3名は90歳  
以上の方であった。年齢を問わず短歌を  
楽しませている。選歌歌評では、会場か  
らの挙手もあり、引き続き1時間の講演  
を真剣に聞かれた。4時間近くの短歌の  
時間を、大いに楽しまれて和氣藹々の雰  
囲気で終わった。

最高賞

久留米市長賞 重松美智加(福岡市)

病室に南先生ふわり来ぬ水玉模様が白  
衣に透けて

久留米市教育委員会賞

高橋 将代(柳川市)

能面の「翁」のやさしき面を彫る夫の顔  
にも深き横皺

久留米連合文化会賞 向井真津久(久留米市)

新葉の開発により百までも生きて苦し  
む平成の世を

西日本新聞社賞 高倉久年(朝倉市)

義弟の柩の中に吾が折りし折鶴そっと  
入れてやりたり

西日本新聞社賞 蒲原ツヤ子(久留米市)

朝刊を開けばばつと菜の花のカラー写  
真が春を告げおり

(短歌部・田代直美)

# 第21回短歌部歌評会

7月6日(土)、えーるピア久留米で開催  
しました。

選者二名及び互選による結果は次の  
とおりです。

藤吉宏子選

一位 万緑のうねりに乗りて車椅子

翼あるごとまほろばを行け

大津留直

二位 鳥よけのでぐす張らるる山の墓地

春の風吹く砂巻き上げて

本松純子

三位 知らぬ間にあぢさみ伸びて咲く花の

朝湿りして梅雨入り近し

深野亨輔

一位 鳥よけのでぐす張らるる山の墓地

春の風吹く砂巻き上げて

本松純子

二位 五十年を一気に納屋より引き出して

捨てに捨てたり五日を要す

古賀耀子

三位 万緑のうねりに乗りて車椅子

翼あるごとまほろばを行け

大津留直

一位 万緑のうねりに乗りて車椅子

翼あるごとまほろばを行け

大津留直

二位 五十年を一気に納屋より引き出して

捨てに捨てたり五日を要す

古賀耀子

二位 胸にひびく太鼓の一打に幕上がり

神々舞ひ降り歌ひ踊るも

大塚さゆみ

(短歌部・田代直美)

# 第8回茶を楽しむ会

江戸千家久留米不白会

坂本繁二郎生家において3月31日(日)、  
茶を楽しむ会を開催しました。今年度は  
年度末の慌ただしい日の開催になりま  
したが、天気にも恵まれ、小さな子供から  
大人まで多  
くの方々に  
参加いただ  
きました。  
かしこまら  
ず、気楽に  
美味しいお  
抹茶を楽し  
んで頂きま  
した。

(茶道部・田中宗俊)

# 第38回水墨画心象会展

平成31年3月26

日(火)～3月31日(日)

久留米市一番街多

目的ギャラリーに

於いて開催。

毎年、展覧会を開

催しています。楽し

みに来てくださる

方々もあり、私達も

更に努力していき

たいと思っています。



(水墨画部・古賀利恵)

第46回久留米謡曲連盟謡曲大会



平成31年1月27日(日)、9時30分～17時、久留米シティプラザ3階久留米座能舞台に於いて開催いたしました。  
久留米謡曲連盟は能楽五流「四流一派」の振興を通じて、会員の人格向上と相互の親睦を図ると共に久留米地域の伝統文化の発展に寄与することを目的として結成されています。  
令和元年度も久留米シティプラザで新春の能舞台が設営計画されて、これに併せて、謡曲による幽玄の一刻を堪能しようと謡曲大会を企画しています。  
主催・久留米謡曲連盟

(謡曲部・蒲池洋一)

総合文化部門 第三回文化講演会

「墨のはなし」

6月9日(日)、えーるピアで開催しました。今回は、奈良墨運堂福岡営業所長の影林氏を講師にむかえて「墨のはなし」の講演をしていただきました。最初に、墨匠の方が墨を作るまでのビデオを鑑賞しました。その後、墨の原料である「すず」の種類や「にかわ」の話聞き、墨をする水の種類や(硬水や軟水)、水温でも「にじみ」に違いが出ることを、サンプルを示されながら話されました。参加者からは、「何もわからない私にも、良くわかるような話でした。」「それぞれの墨にもいろいろな種類があり、面白く聞くことができました。」などの感想をいただきました。(国際交流文化部・諸石祥雲)

第17回ジュニア青木繁展

久留米に生まれた青木繁は、若く17歳にして青雲の志をたて、芸術の道を極めるため単身上京しました。浪漫主義の絵画を開花させ、我が国洋画界の鬼才と評され、歴史に残る活躍をしました。青木繁の画業を顕彰するとともに次代を担う若者に、芸術の清新な感動を体験させ、文化を育成していく心情を育てる場として本展を開催しました。連文は運営にたずさわり、美術部門の会員が審査員として協力しています。  
第17回は、書道部門・2月6日(水)～10

第17回は、書道部門・2月6日(水)～10

日(日)、絵画部門・2月13日(水)～17日(日)、市役所2Fアートスペース・ホワイエで開催しました。

大賞 絵画の部

太宰府高等学校2年 野田舞さん



女子高生の横顔や吐息で手を温めている仕草を淡いモノトーン調で巧みに描写されており、画面から空気や温度を感じとれる表現力が作品に唯一無二な存在感を与えています。(洋画部・宇美拓哉)

大賞 書道の部

羽犬塚中学校2年 土井詩織さん

線の切れをもつて正確に字形を組み立て、紙面いっぱい伸び伸びと表現した最高賞にふさわしい立派な作品です。(書道部・北村久峰)



久留米市制施行130周年記念

第18回ジュニア青木繁展

「搬入日」12/16(月)～20(金)

「搬入場」連文事務局

※詳しくは連文事務局にお問合せください。

第53回仲縄忌俳句大会

6月27日(水)、遍照院での高山彦九郎先生二百二十七回忌法要の後、えーるピア久留米にて、俳句会を行いました。

今年は、台風の進路の影響か、青空ながら、風の強いの中の法要となりました。例年はない句材に、俳句部以外の方の御参加もあり、俳句会にも、新しい風が吹いたと思えました。  
尚、選者三名の特選句(◎)佳作句は次の通りです。

後藤隆選

◎彦九郎よりの喝とも青嵐

吉田いずみ

仲縄忌神慮の如く梅雨晴れて

大日方明美

梅雨入りを昨日に今日は仲縄忌

野口桂子

吉田いずみ選

◎万緑が心に痛み仲縄忌

野口桂子

梅雨入りを昨日に今日は仲縄忌

野口桂子

志士の忌の供華やガラスオラス白し

大島シゲ子

宮崎みゆき選

◎夏帯の接待も又仲縄忌

吉田いず

仲縄忌若き和尚の夏衣

中尾笑美香

思はざる梅雨晴となり墓前祭

中尾笑美香

(俳句部・大坪久美枝)



2019年1月〜7月

久留米喜秀会演能公演	1/19(土)・久留米シティプラザ 久留米座
第46回久留米謡曲連盟謡曲大会	1/27(日)・久留米シティプラザ 久留米座
創部65周年記念連文デザイン部展	1/30(水)〜2/3(日)・久留米市美術館
池坊三瀧支部花展	2/1(金)〜4(月)・岩田屋久留米店 9階催事場
Ponshow You久留米公演2019(久留米市芸術奨励賞受賞謝恩公演) 2/3(日)・石橋文化ホール	
第17回ジュニア青木繁展 (書道) (絵画)	2/6(水)〜10(日)・久留米市役所アートスペースイ
第5回九州国展	2/13(水)〜17(日)・久留米市役所アートスペースイ
第5回九州国展	3/6(水)〜10(日)・久留米市美術館
混声合唱くるめ市民コール第11回定期演奏会	3/9(土)・石橋文化センター共同ホール
第35回利休忘茶会(裏千家淡交会久留米支部)	3/17(日)・少林禅寺
劇団PROJECTぴあ演劇公演 昭和勿忘草	3/16(土)〜17(日)・えーるピア久留米 梶藤寛ホール
みやざき都箏リサイタル	3/21(木)・久留米シティプラザ
青木繁旧居華道展(草月流万年青年会中野松芳社中)	3/23(土)〜24(日)・青木繁旧居
第66回けしけし祭	3/24(日)・順光寺・かぶと山
第38回心象会展(大石繁光とそのグループ・水墨画)	3/26(火)〜31(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
華道家元池坊久留米支部花展	3/30(土)〜31(日)・久留米シティプラザ 展示室
第8回茶を楽しむ会(江戸千家久留米不白会)	3/31(日)・坂本繁二郎生家
久留米歌壇第35集発行	4/1(日)発行
篠山神社大祭献茶(江戸千家久留米不白会)	4/3(水)・篠山神社
玉垂宮献茶(表千家不白流九州支部)(野点)	4/14(日)・玉垂宮
第3回日本画部展	4/16(火)〜21(日)・えーるピア久留米 展示室
第65回連文茶道部大茶会	4/21(日)・久留米シティプラザ
高良大社昭和祭献茶(江戸千家久留米不白会)	4/29(祝)・高良大社
久留米文学第66号発行	5/1(水)発行
水天宮献茶(表千家不白流九州支部)(野点)	5/3(祝)・水天宮
久留米児童合唱団第48回定期演奏会	5/4(祝)・石橋文化ホール
2回総合文化部門第48回定期演奏会	5/8(水)〜12(日)・えーるピア久留米 展示室
第32回大日本茶道学会福岡地区研修会	5/12(日)・大濠公園日本庭園
第46回連文書道部書作家展	5/15(水)〜19(日)・久留米市美術館1階
第55回久留米短歌大会	5/26(日)・石橋文化会館 小ホール
第13回工芸部会員作品展	5/28(火)〜6/2(日)・えーるピア久留米1階
水道週間ふれあいフェア呈茶席(日本礼道小笠原流)	6/2(日)・百年公園
青木繁生誕茶会(江戸千家久留米不白会)	6/2(日)・青木繁旧居
学校茶道合同茶会(裏千家淡交会久留米支部)	6/9(日)・くるめりあ六ツ門
総合文化部門第3回文化講演 墨のはなし	6/9(日)・えーるピア久留米 201研修室
第53回仲縄忌俳句大会	6/27(水)・遍照院 へーるピア久留米
仲縄忌供茶(裏千家淡交会久留米支部)	6/27(水)・遍照院
第6回青木繁記念大賞ピエンナーレ	6/29(土)〜7/28(日)・久留米市美術館
第21回短歌部歌評会	7/6(土)・えーるピア久留米

2019年8月〜12月

諸石祥雲書作展	8/1(木)〜30(金)・筑邦銀行本店ロビー
第48回水の祭典久留米まつり(総おどり参加)	8/4(日)・明治通り歩行者天国
水天宮献茶(表千家不白流九州支部)(野点)	8/6(火)・水天宮
倉敷児童合唱団久留米児童合唱団シヨントコンサート	8/17(土)・石橋文化ホール
総合文化部門第4回文化講演会(筆のはなし)	9/15(日)・サンライフ久留米 大会議室
第39回連文会員華道展	9/16(月)〜19(木)・久留米シティプラザ 展示室
コンセル・エラタン福岡第19回自主公演吉原リズヴォー19	9/17(祝)・日本福音ルーテル久留米教会
第2回創元会福岡・佐賀支部合同展及び	9/18(水)〜22(日)・久留米市美術館1階
第39回創元会西日本美術展	9/22(日)・石橋文化センター共同ホール
吟詠道連盟第60回吟剣詩舞道大会	9/23(日)・南部浄化センター
第23回下水道フェア呈茶(裏千家淡交会久留米支部)	9/29(日)・篠山神社
篠山神社大祭献茶(江戸千家久留米不白会)	10/9(水)〜27(日)・久留米市美術館1階
第68回久留米市総合美術展	10/9(水)〜27(日)・久留米市美術館1階
第47回連文会員美術展	10/10(水)・高良大社
高良大社献茶(表千家不白流九州支部)(野点)	10/12(土)・日吉神社
日吉神社観月茶会(裏千家淡交会久留米支部)	10/19(土)〜20(日)・久留米シティプラザ Cボックス
ほとめき倶楽部10周年記念公演	10/22(火)・日本福音ルーテル久留米教会
パロック・ヴァイオリンの神髓	11/4(祝)・久留米シティプラザ サグランドホール
フジタバレエ70周年記念公演 シンデレラ	11/10(日)・市役所くるみホール
ジュニア文芸大会(表彰式)	11/10(日)・石橋文化センター共同ホール
ムジカ・ソナレ・アンサンブル第25回演奏会	11/10(日)・梅林寺
第73回久留米茶道連合会法要大茶会	11/11(月)・日吉神社
日吉神社献茶(表千家不白流九州支部)(野点)	11/12(火)〜17(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
第31回南祥会書作家展	11/23(祝)・御井町コミュニケーションセンター
第66回桃青忌俳句大会	12/1(日)・石橋文化ホール
第26回賢順記念全国箏曲祭	12/1(日)・久留米シティプラザ 和室他
裏千家淡交会久留米支部第66回歳末助け合い茶会	12/22(日)・久留米シティプラザ Cボックス
2019 JDCカンパニーダンスパフォーマンス vol.1	通年・青木繁旧居
青木繁旧居生け花展示(草月流万年青年会中野松芳社中)	通年・JR久留米駅構内
JR久留米駅生け花展示(小笠原流草月流嵯峨御流 毎週交代)	

部長各位 「連文創立70周年記念事業 原稿依頼について」 12月末×切

連文創立70周年記念事業は来年5月に実施されますが、各部の過去の10年の歩みを連文ホームページに掲載しますので、本年12月末までに、各部の記事と写真を事務局まで、データで送信してください。お願ひします。データ送信が困難な場合は、FAXや写真郵送でもOKです。  
字数 写真の枚数制限等はありません。※50・60周年誌を参考に。(広報委員会)

謹んでご冥福をお祈り致します。

丸山兼司さん(写真部) 2019年5月